

2014 UCI シクロクロス世界選手権 (オランダ・ホーガハイデ) レースレポート

チームパナソニックレディース 豊岡英子



日時 2014年2月1日

天候 雨、くもり

場所 オランダ・ホーガハイデ

結果 36位

私のヨーロッパ遠征最後のレース世界選手権。今年はオランダのホーガハイデという所で行われた。今年から女子は土曜日の15時からとなった。試走する限りでは、ドライコンディションで、立体交差、アップダウンのある、ハードなコースレイアウト。

土曜日は、雨が降り泥レースとなった。

2つ目の立体交差頂上での向かい風には、かなり体力を使う。1周走るだけで、ものすごく体力を使う。先週の、フランスでのワールドカップ並の体力消耗コースだ。

レース当日、女子の前に行われた、ジュニアのレース内容から考えて、4周回だろうと思った。ジュニアのレースでは、あまりの泥に何人かの選手はコースアウトして身体を強打していたので気をつけないといけないな、と思った。

世界選手権は、80パーセントルールが適応されてからの3年間は、完走すらできていなかった。なぜ、ワールドカップやUCIレースでは結果を残せているのに、なぜなんだ？何がいけないのか？といつも考えながら3年が過ぎていた。

スタート前、緊張は無かった。

しかし、レーススタート、速い、さすが世界選手権。あっという間に先頭は行ってしまった。周りでは、落車や接触で壮絶な感じになっていたが、上手くすり抜けた。

スタート時の周りを見る冷静さや、動体視力は、この2年でかなり進化したといえる。

といっても、1周完了時には、既にかなり体力を使っていた。2周目は、本当にキツくて、何回も何回も心折れそうになった。

2周目で、いつも心との格闘。悪魔のささやきが始まる。足を緩める？緩めない？あきらめる？あきらめない？今、ここで諦めたら、また昨年同様になる、と思い直した。

トレーニング内容も、昨年とはガラリと変えた。だから、途中しんどくても、必ず復活するから、その時を、ただひたすら待つように言われていた。

3周目に入った時、電光掲示板は既にトップと3分と表示されていて、すごく焦った。しかし、身体が動き始めていたので、ペダリングにも力が入ってきた。最終周回は、すごく体力消耗していた。立体交差でも、足が付きそうなくらいであった。

トップとは、7分も差があり、結果は36位であったが、自分の走りは悪くはなかった。サポートしてくれたナショナルチームのスタッフの皆さんに感謝している。無事走り切ったことは、自分の中では大きな自信になった。

反省すべき点としては、先週のフランスワールドカップではナショナルチーム監督にも素晴らしい走りだった、と期待されていたが疲れが抜けきれず、ベストコンディション・ベストウエイトに持っていけなかった点。さらに、前日ローラーを行っていた際、横に立っていた椅子の足が壊れていて、全体重を椅子に掛けたときにそのまま全身倒れ身体を強打したことであろう。

12月中旬から続いたヨーロッパ遠征、応援ありがとうございました！
また頑張りますよ！

使用機材

自転車	パナソニック
ヘルメット	OGK KABUTO
ステム	dixna
ハンドル	onebyesu
フォーク	onebyesu
バーテープ	dixna
サングラス	adidas eye wear
ウェア	パールイズミ
タイヤ	challenge
サドル	fi'zi:k
シューズ	fi'zi:k
遠征バック	deuter
チェーンオイル	Holmenkol
コンプレッション	2XU
セルフボディケア用品	メソッド